

白梅 会報

第42号

発行
令和8年6月10日
石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校
同窓会
TEL・FAX0225(23)1359



同窓会設立 115年

同窓会会長
佐々木多佳子



心地よい風に、初夏の氣配が感じられる季節になって参りました。

皆様におかれましては、

「個」を研ぎ澄まし、「甲斐ある人」へ

校長
山田 賢一



同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に多大なる御理解と御支援を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

今年度は166名の新入生を迎え、全校生徒506名、教

つがなくお過ごしのことと拝察いたします。

さて、令和7年度（令和7年10月4日実施）の同窓会総会も、当番学年の方のご尽力により円滑に開催されました。総会の議事も全て承認され、アトラクションは、好文館高校チアリーディング部の素晴らしい演技、マンドリン部の心が和む演奏で、癒しのひと時をいただきました。

ところで、学校は明治44年（1911年）文部省（現在は文科省）の認可を受け、石巻町立石巻実家高等女学校として創立しました。当時の校長先生が、何名かの教職員と共に同窓会を立ち上げます。

令和8年4月の異動により着任いたしました、山田賢一でございます。新聞等の発表をご覧になり、私の前任校が中学校であったことに驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。私は元来ずっと高校教員を務めてまいりましたが、中高交流人事により、仙台第二高校教頭から2年間、大河原町立金ヶ瀬中学校の校長を務めました。そしてこの度、縁あって本校へ着任することとなりました。義務教育の出口と高校教育のスタートを同時に俯瞰したこの経験を活かし、本校生徒たちが3年間でいかに成長し、自らの道を切り拓いていくかというその歩みに、真摯に向き合っていく所存であります。

今年度は166名の新入生を迎え、全校生徒506名、教員67名で出発いたしました。入学式や始業式では、生徒たちへ「失敗を恐れず挑戦すること」「自分の軸を持つこと」、そして「お互いさまの心を大切にする」という3つの心構えを伝えました。また、前任の校長が昨年度は「とことん好文館」というスローガンを掲げておられました。今年度は「とことん好文館」という言葉を託されました。私なりにこの「とことん」という言葉は、周囲に押し付けがましいことではなく、自分にはない強みや個性を誰にも負けない鋭さまで研ぎ澄ますことと解釈いたしました。生徒一人ひとりが自らの個性を磨き上げ、校是である「甲斐ある人」として社会へ羽ばたいていくための大切な礎となるものと考えております。着任して間もない頃、地震

上げ、自ら代表を務めて下さったと記録に有ります。同窓会の設立は、学校の創立と同じで、今年が115年目となります。

大正10年には初代の会長が選任され、現在は8代目になります。昭和30年代には、各地に同窓会の支部が結成され、最初に名乗りを上げたのが、渡波支部と女川支部でした。その後10か所の地区に支部が結成され、遠い所では関西支部もありました。現在は、仙台支部・関東支部・山形支部の3か所所活動が行われています。平成18年度より校名の変更と共に、「宮城県石巻好文館高等学校同窓会」と成りました。

115年の歴史の中には、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

は、戦中や戦後の不況で辛い体験をされた先輩方がおいでだったと思います。そのような状況下でも先輩方

同窓会入会式

卒業式を翌日に控え、充実した3年間の高校生活を振り返り、ひとまわりもふたまわりも大きく成長した生徒たちの瞳は希望に満ちてきらきらと輝きを放っています。卒業生の皆さん、同窓会へようこそ！佐々木会長の元氣な挨拶に少々戸惑いを見せながらも、最終登校日となる2月27日、今年も肅々と同窓会入会式が行われました。今年度は、78回生となる1755名の入会者をお迎えしました。新同窓生を加えますと、本学の卒業生は、旧制高等女学校も合わせて、総計27,132名となります。

同窓会入会者代表の阿部君の挨拶の中でも、部活動や生徒会活動に明け暮れ、あっという間の3年間に駆け抜けた、とても充実していたと振り返り、これから責任ある成人の一人として「甲斐ある人」になってまいりますとの弁、また、記念品を代表して受け取った木村君も、たくましく背中としっかりと足取りで頼もしく、これからの活躍が本当に楽しみです。今年の入会記念品も「ふくさ」を、白梅の校章入りで贈呈させていただきました。

木村美保子



この度、会報白梅の題字「白梅」「支部だより」「それぞれの輝き」を石巻好文館高等学校教諭 遠藤睦実先生に書いて頂きました。遠藤先生は書道部顧問として生徒のご指導にあたり、全国大会等で素晴らしい成績を収めております。

令和7年度同窓会総会

感謝!!

昭和59年卒 荻原智恵

私が母校の地に赴任した6年、旧校舎の姿はすでになく、プレハブの校舎に引越した。夏新校舎に引越したの、旧校舎の記憶はだいたい薄れてきている。それでも、個性の強い先生方や友人たちと出合い、部活動に明け暮れ、

「そろそろ当番学年だよな」と同級生間で囁かれ始め、その思いは全く色褪せることがなく、むしろ輝きを増している。ありきたりの模擬店を企画して白馬の前足になつた文化祭とか、部活終わりに大森商店へ買い出しに走った

「私も手伝わせて」と、友達が「私が増えていき、準備会メンバーの声掛けで、当日は

校歌に重ねる懐かしいハーモニー

平成11年卒 林(小山)ももえ

このたび、令和7年度宮城から、受付や会場案内などの県石巻好文館高等学校(旧宮城県石巻女子高等学校)同窓会総会に、平成11年卒の総会当番学年として参加させていただき、私にとって同窓会への参加は今回が初めて、会場となった石巻グランドホテルに多くの同窓生が集う様子を目の当たりにして、母校の歴史と同窓のつながりの深さを改めて実感いたしました。

同窓会総会はコロナ禍の影響により長らく開催が見送られていましたが、前回5年ぶりに再開されたと同じく、その流れを受けて行われた今回の総会には、およそ200名ほどの同窓生が参加され、世代を越えた交流の場として終始和やかな雰囲気にかまわれていました。当日は昭和59年卒の幹事の先輩方のご指導をいただきながら、

絶対行くから」という連絡が続々と入ってきた。総会当日の朝、石巻グランドホテルの受付ホールに集合した私たちは、学年リーダーの的確な指示の下、再会の挨拶もそこそこあったという間に18歳のあの頃にタイムスリップして、わいわいと各チームの仕事こなしていって。改めて、石巻生の団結力と機動力、そして母校愛を実感させられた瞬間である。総会では様々な意見が交わされ、同窓生の皆様方の意識の高さに敬服した。

アトラクションとして本校チャリディング部・マンドリン部の生徒たちが繰り広げる熱演に、先輩方から温かい拍手が惜しみなく贈られた。終わってみれば、「同級生っていいな」「校歌歌うとき涙出そうで我慢するのが大変でした」「チャリダー入りたくてムズムズした」など、感動の発言が次々飛び出し、還暦という人生の節目で、懐かしい面々とともに当番学年の役目を果たせたこと、そしてお世話になった各方面の方々に、心からの感謝の気持ちでいっぱいである。

「そろそろ当番学年だよな」と同級生間で囁かれ始め、その思いは全く色褪せることがなく、むしろ輝きを増している。ありきたりの模擬店を企画して白馬の前足になつた文化祭とか、部活終わりに大森商店へ買い出しに走った



「私も手伝わせて」と、友達が「私が増えていき、準備会メンバーの声掛けで、当日は

「私も手伝わせて」と、友達が「私が増えていき、準備会メンバーの声掛けで、当日は

「私も手伝わせて」と、友達が「私が増えていき、準備会メンバーの声掛けで、当日は



つなぐ

令和7年10月4日(土)

石巻グランドホテルに於いて令和7年度同窓会総会を開催いたしました。参加者は昭和30年卒の方から令和7年卒の会員と恩師、各支部長の205名です。当番学年の昭和59年卒と平成11年卒の方々の準備のおかげで円滑に進行できました。執行部の協議案が全て可決されたのち、学年幹事について率直な意見交換があり、母校の発展を願う気持ちはみな同じだと感じました。

懇親会のアトラクションでは在校生の姿に感動しました。チャリディング部のアクションのようなパフォーマンスとマンドリン部の柔らかな音色。「校歌」の演奏に思わず口ずさんだ方もいて、部員の「伝統ある部活を守っていく」という宣言に大きな拍手が起こりました。114年前から変わらずパワーあふれる総会となりました。

同窓会の様子は、学校のHPからご覧いただけます。

内海 奈保子



令和6年度 宮城県石巻好文館高等学校同窓会決算書

自 令和6年9月1日/至 令和7年8月31日

(単位:円)

[収入の部]				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 入 会 金	684,000	609,600	△ 74,400	在校生 @ 1,200 × 508 名
2. 会 費	2,000,000	2,266,000	266,000	同窓生 終身会費 38 名 年会費 657 名
3. 繰 越 金	89,791	89,791	0	前年度より
4. 特 別 会 計 予 算	970,000	970,000	0	
5. 雑 収 入	200	84,478	84,278	寄付金・預金利息・グッズ販売売上
合 計	3,743,991	4,019,869	275,878	

[支出の部]				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1. 事 務 費	827,000	890,745	63,745	
会 議 費	20,000	19,510	△ 490	仙台支部総会、学年幹事会
印刷・消耗品費	37,000	17,265	△ 19,735	コピー用紙、インクカートリッジ他
通 信 費	130,000	269,904	139,904	会費振込手数料、電話料、切手他
旅 費	65,000	14,500	△ 50,500	学年幹事会、仙台支部総会
事 務 手 当	550,000	550,000	0	事務員給与
雑 費	25,000	19,566	△ 5,434	在校生卒業アルバム代、車両費他
2. 事 業 費	2,910,000	2,858,430	△ 51,570	
会 報 発 行 費	2,000,000	2,078,002	78,002	印刷・発送費
総 会 費	300,000	300,000	0	総会費補助
支 部 助 成 費	200,000	130,000	△ 70,000	関東支部他2支部
生 徒 助 成 費	150,000	80,000	△ 70,000	大会出場、生徒会誌補助
新 入 会 員 歓 迎 費	250,000	252,200	2,200	入会記念品
慶 弔 費	10,000	18,228	8,228	弔電・訃別
3. 予 備 費	6,991	55,000	48,009	卒業生総会招待(令和2年~6年卒業生)
合 計	3,743,991	3,804,175	60,184	

残高(収入額) (支出額)
4,019,869 円 - 3,804,175 円 = 215,694 円 (次年度へ繰越)

令和6年度 事業報告

年 月 日	事 業 内 容	会 場
令和6年9月21日	令和6年度同窓会総会	石巻グランドホテル
10月27日	仙台支部総会	仙台(江陽グランドホテル) 本部参加2名
10月28日	役員会・総会反省会	同窓会室
令和7年1月27日	役員会・総会準備会	同窓会室
2月28日	新入会員入会式(194名)	母校体育館
2月28日~6月10日	白梅編集委員会	同窓会室 メールなどにて編集作業
4月21日	役員会・総会準備会	本校大会議室
6月10日	会報「白梅41号」発行	
6月13日	役員会	同窓会室
6月21日	学年幹事会	本校白梅ホール
9月17日	役員会・総会準備会	同窓会室

◎生徒会補助

- (1) 新入会員へ「白梅マーク入り襦袢」贈呈
- (2) 生徒会誌「白梅」発行への補助
- (3) 全国・東北大会出場の一部への補助

吹奏楽部 全国高等学校総合文化祭
男子ソフトテニス部 東北高等学校春季大会

◎慶弔経別

- ・弔電 11通
- ・転出者、退職者教職員への経別(同窓会関係) 2名

石女、好文館高校の同窓生で山形県内にお住まいの方はいっぱいいます。一度でも構いませんか？

方ではどのくらいおいでしよう。昨年、総会では、車を走らせれば、石巻へ近隣のこの家へ1時間半から2時間で帰れてしまう山形です。でも、高校の3年間を同じ空間で過ごした仲間と身近に会うのも楽しいものです。沢山お喋りして元気に「又、会いたい」と考えています。沢山笑って「よし、今少し、お待ちください。いましめよう。」そんな集まりにしよう。

進学や就職で山形にお住まいのお若い同窓生の皆様のご参加も大歓迎です。同窓のお仲間と繋がる、実際に会うのは「実に心安らぎ、待ちしています。笑いでいっぱい」、時間も



白梅

それぞれのかげやす



老梅のひとり言

昭和45年卒 伊藤 桂子



私の高校時代は自分の欠点との戦いだったかもしれない。田舎の中学から出てきて、1年生の英語の授業で

「はい」と元気よく読み

はじめたとたん「伊藤、お前、中学はどこだ」と聞かれ、「桃生町の」と答えました。

先生は「やっぱりそうか。お前の英語はカタカナ英語だ」と言われたのです。

田舎の優等生はガツッでも人間は、欠点を抱え込むことによって成長するのです。欠点が1つもなかったら、そこで成長が止まるわけですから。

いろいろな欠点も、神様が人間に与えたプレゼントかもしれない。

念願の本を上梓

昭和49年卒 高橋としみ



昨年、文芸社主催「人生十色大賞」で最優秀賞を受賞しました。本の標題は「父の仕業」です。震災前後に

仙台の日曜随筆の会員であった頃、毎月作品を掲載

にあたり、主に父の事や自分の身の回りの事を書きま

した。仕事を完全にやめた後、作品をまとめて冊子に

して友人知人に読んでもらったりしていましたが、

公募に出したらなんとかなり添ってほしい本当に心

「ああ、自分は相談わずバカだなあ」と思っただけでいいです。そして、目の前にあるひとつひとつに丁寧に向き合い、こなししていけばいいです。

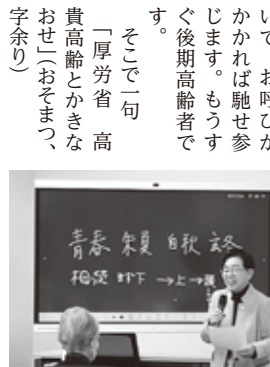
時々大きく深呼吸をして、落ち込んでしまった自分さえも認めて、いやしてあげよう。

と、自分に納得させて、早や70有余年。老体にむち打って、現在行政書士を続けております。

困っている人の一助となればと思ひ、あつちつちと歩き回っております。

「終活セミナー」も行っている、お呼びがかかれれば馳せ参じます。もうすぐ後期高齢者です。

そこで「厚労省 高貴高齢とかきなおせ」おそまつ、字余り



強く助かりました。昨年の同窓会のあとでは同期の皆さんにもお祝い会をして頂きました。感謝です。

十代の頃から詩を書いていました。産経新聞の「朝の詩欄」に投稿しています。

朝の詩から生まれた詩人、柴田トヨさんは常連でした。90歳の頃から投稿し始め

たのではと思います。私も彼女に触発されて40歳の頃から投稿し始めました。

なかなか載らないのですが、これまで30篇ほど掲載されました。詩集を上梓する事を考えていましたが、思いがけず

エッセイの方が先になつてしまいましたが、夢は限りなく。次は詩集に挑戦したいと思ひます。

皆様には是非ともこの度の「父の仕業」をお読みいただければ幸いです。

詳しくは文芸社「父の仕業」を検索、或いは書店にお問い合わせ下さい。



世界が広がったその先に

平成22年卒 齋藤 彩香



高校生活を振り返ると、あの3年間は私にとって世界が広がる時間でした。私が入学したのは、好

文館高校へと名前が変わり、共学

化されてまだ2年目の頃。自宅から学校まではバスでおおよそ1時間

半ばかり、朝早く家を出て通う日々は大変でもありましたが、同

じバスに乗る友人との何気ない会話や、テスト勉強をしながら過ご

した時間は、今となってはかけがえのない思い出です。

私は中学までクラスに20人もいない地域から進学しました。それ

自分の在り方や物事の見方に少しずつ変化が生まれ、どこで生きていきたいのかを考え直すようになりました。そして大学卒業後、私は地元で就職することを決めました。

石巻の企業で4年間を過ごし、現在は家業である水産業に携わりながら、石巻青年会議所に所属

づくりの街で活動する若い世代の仲間たちとまちづくりに関わっています。高校時代にはなかった価値観が大きく揺さぶられ、人とのつながりが

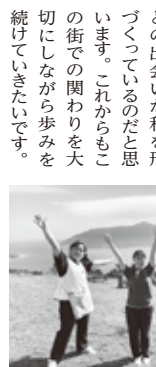
増えるにつれて、小さく感じていた街が実は多様な人たちの集まる広がりのある場所だと気づくよ

うになりました。開れるほどに新たな魅力を知り、この街が好きだな、と思える瞬間が増えています。

今回このような機会をいただき、これまでを振り返る中で今の自分があるのは多くの人に支えられてきたからだと思ひ、改めて感じました。高

校時代に広がった世

界が今につながり、人との出会いが私を形づくつていくのだと思ひます。これからもこの街での関わりを大切にしなが歩み、続けていきたいです。



Precious Time

令和6年卒 小松 海生



好文館の校歌にある「甲斐ある人」とはどのような人なのでしょう。か。「甲斐ある人」とは努力や行動に価値があり、意味があったことを表現する言葉です。

皆さんは「甲斐ある人」に近づけていますか。

私は好文館高校を卒業後、航空自衛隊に入隊し、学生期間を経て青森県の三

沢基地で戦闘機の整備員として日々勉強や実践を繰り返しながら仕事をしています。

貴重な時間とはどのような時間がありますか。3年生は受験、2年生は先輩に

「Precious Time」(貴重な時間) 貴重な時間とはどのような時間がありますか。3年生は受験、2年生は先輩に



好文館高校での何気なく過ごした毎日が、今では戻ることのできないかけがえのない宝物として心に深く残っています。

好文館高校での生活は社会人になっても人生の礎となっていくものばかりです。

1日1日の思い出を大切に好文館での学校生活を楽しく

生きてください。

令和8年	1月	松浦・松浦通子	様	昭和27年定例制卒
	12月	小林・三浦アツ子	様	旧職員・昭和31年卒
	8月	渡邊・佐藤秀子	様	昭和18年10月専攻科卒
	8月	鈴木三浦あさ子	様	昭和19年卒
	7月	太田・西條幹子	様	昭和32年卒
	7月	坊澤・下郷ササ子	様	昭和31年卒
	5月	遠山・通希	様	令和4年卒
	5月	佐々木松美津枝	様	昭和45年卒
	5月	菊池石川まり子	様	昭和42年卒
	5月	志賀長谷川藤枝	様	昭和28年卒
	5月	鹿野・治子	様	昭和31年卒
	5月	小貴石川ふみ子	様	昭和28年卒
	4月	北村・和子	様	昭和15年卒
	4月	三浦・三浦エミ子	様	昭和35年卒
	4月	今野・ひろ子	様	昭和33年卒
	4月	二宮・高須賀初枝	様	昭和33年卒
	4月	古城・木村美代子	様	昭和32年卒
	4月	山田・岩井・禮子	様	昭和20年卒
	3月	鈴木・吉田・とも子	様	昭和31年卒
	3月	今藤・今藤美也子	様	昭和32年卒
	3月	山本・浅野恵子	様	昭和33年卒
	2月	三浦・木村美代子	様	昭和26年卒
	2月	阿部・須藤千枝	様	昭和32年卒
	2月	新妻・山本・泰子	様	昭和34年卒
	2月	鈴木・山口・泰子	様	昭和31年卒
	1月	稲村・三浦恵恵子	様	昭和27年卒
	1月	太田・佐藤美子	様	昭和36年卒
	1月	小林・大森榮子	様	昭和25年卒
	1月	久澤・津野喜多子	様	昭和19年専攻科卒
	1月	水澤・浅野恵子	様	昭和41年卒
	12月	渡部・田代知子	様	昭和40年卒
	12月	尾形・田代知恵子	様	昭和41年卒
	12月	平田・安倍さき子	様	昭和19年専攻科卒
	12月	森・佐藤・静江	様	昭和26年卒
	11月	千葉・森香子	様	昭和48年卒
	11月	藤沼・伊良・絢子	様	昭和32年卒
	11月	中岡・伊藤・礼子	様	昭和29年卒
	10月	奥田・勝文・雅枝	様	昭和39年卒
	10月	佐藤・柳田みはる	様	昭和24年卒
	9月	奥原・寛好	様	昭和19年卒
	9月	菅原・斉藤・信子	様	昭和31年卒
	9月	馬場・高藤・信子	様	昭和45年卒
	8月	三谷・小松京子	様	昭和30年卒
	8月	岡・わか子	様	昭和19年卒
	7月	鈴木・木永・幸子	様	昭和27年卒
	6月	馬場・馬場・裕子	様	昭和30年卒
	6月	庄司・哲雄	様	昭和35年卒
	4月	佐々木・高須賀・節子	様	昭和37年卒
	4月	森山・浅野・博子	様	昭和28年卒
	4月	末廣・立井・敏子	様	昭和40年卒
	2月	尾形・土井・敏子	様	昭和29年卒
	2月	鈴木・高橋・万寿子	様	昭和36年卒
	12月	阿部・阿部・万寿子	様	昭和45年卒
	12月	神志名・浅野・礼子	様	昭和38年卒
	9月	津田・根元・幸子	様	昭和35年卒
	9月	横山・遠藤・さみ子	様	昭和29年卒
	6月	櫻井・桜井・政子	様	昭和12年卒
	12月	堀地・いく子	様	昭和39年卒
	12月	高橋・宮本かつ子	様	昭和39年卒
	4月	大貫・益野・勝子	様	昭和38年卒
	2月	尾形・桜井さき子	様	昭和29年卒
	7月	松田・門馬・裕子	様	昭和37年卒
	7月	後藤・後藤・演子	様	昭和27年卒
	7月	高橋・守口・のぶ子	様	昭和32年卒
	7月	高橋・木村・福子	様	昭和30年卒
	7月	草野・高橋・玲子	様	昭和36年卒
	7月	伊妻・阿部・美津子	様	昭和19年卒
	7月	岩澤・岡本・美津子	様	昭和20年卒

総会風景



校歌

一 羽黒の山のふところに
松のみどりを身にしめて
はぐくまれゆく我が友よ
かはらぬ色をそのまゝに
廣き空を仰ぎつゝ、
ますますに強く生ひ立たむ
北上川の川水は
頼な夕なに絶え間なく
東の海に注ぎ行く
我等も共にいそしみて
心を磨き身を鍛へ
甲斐ある人と言はれなむ

同期の集い

生物部春秋
昭和49年卒 佐藤(柴山)葉子

私達は、あの生物室で、
校庭で摘んだ白話草を毎日
モルモットに与えながら、
たわいもないことを話した
り、実験をしたりして、青
春時代を過ごしました。夏
の合宿では、柴田先生の引
率で八幡平から田沢湖への
縦走などがあり、今思えば
楽しいことばかりでした。
卒業後、就職、結婚と忙
しい時期を経て、還暦を過
ぎた頃から、皆でゆっくり
積もる話をしたいね、と一
泊旅行をすることになりま
した。



記念すべき1回目は、
2013年11月3日です。
震災後、お互いの無事
を祝っての秋保一泊、合宿
以来42年ぶりです。そして、
あの日は、楽天使イギリス
が巨人に勝ち、初の日本一
に輝いた日でした。皆で試
合を見て一喜一憂、また共
通の思い出ができました。
それ以降、平泉、米沢、
り果て・・・では、いませ

笑顔を還暦同期会
昭和59年卒 伊藤美樹
「ちょっと、久しぶり。」
「えーやだー？わかる？」
そんな会話から始まった
同期会。42年の歳月を経て、
還暦を迎えた私たちは変わ
り果て・・・では、いませ

鳴子と幹事持ち回りで場所
を決め、集まっています。
昨年は、秋保で古稀の会
をしました。紫のちゃん
ちゃんこと頭巾を身に付
け、記念撮影をしました。
歳相応に姿、形は変わ
りましたが、心はいつも白梅生
です。思い出を語り合うだ
けではなく、今を生きるた
めに集まり、励まし合っ
ています。高校での出会いに
感謝です。

昔の文通と違って、我々
おば様チームもLINE
グループができ、全国の同
級生と、指一本で瞬時に近
況報告のやり取りが可能
に。時代の流れと共に、世
の中には大きく変わりました
が、ここには変わらないも
の、変えてはいかないもの
を見つけたような気がしま
す。

この素晴らしい仲間たち
との再会を機に、残された
時を「甲斐ある人生」にし
ていきたい、そう心から思
えた私です。幹事の皆様、
ありがとうございました。



編集後記

年を重ねることに、時の流
れを早く感じる気がします
が、皆様はいかがでしょうか。
令和8年、年明け春を迎え
て、母校の梅の木は卒業生の
門出を祝い、在校生の成長を
見守るようきれいな花が咲
き誇りました。
本年も「白梅会報」を発行
することが出来ました。お忙
しい中、ご寄稿いただきました
皆様、深く感謝を申し上げます。
会報を通して学生時代をふ
と振り返りながら、懐かし
くお読みいただければと思
います。

編集委員

- ・佐々木多佳子・平塚由美子
- ・内海奈保子・木村美保子
- ・相野谷恵美・吉田 美佳
- ・阿部 葉子・白井けい子
- ・石坂さゆり・長沼 静子
- ・中塩 寛子・品川 悦子
- ・佐々木美智子・大塚 直美

当番学年代表

- 昭和59年卒 遠藤 陽子
- 昭和60年卒 新田 美穂
- 昭和61年卒 遠藤 睦実
- 平成12年卒 伊藤 亜希子

令和8年度
同窓会総会

令和8年
10/3(土)
11:30~

会費 6,000円
会場 石巻グランドホテル
0225-916111

〒986-0851 宮城県石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校同窓会事務局
(旧宮城県石巻女子高等学校)
TEL・FAX 0225-23-1359
E-mail: shiraume.dousoukai@gmail.com
月・水・金(午前10:00~午後3:00)

◆母 校 TEL 0225-22-9161 ~ 9163
◆令和8年度同窓会総会当番学年
昭和60年卒 新田美穂 清水真理子 阿部佳江
平成12年卒 阿部紀子 鈴木明子 伊藤亜希子

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。
当日、年会費も受け付けております。

宮城県石巻好文館高等学校
旧宮城県石巻女子高等学校

お問い合わせ

◆同窓会室 〒986-0851 宮城県石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校同窓会事務局
(旧宮城県石巻女子高等学校)
TEL・FAX 0225-23-1359
E-mail: shiraume.dousoukai@gmail.com
月・水・金(午前10:00~午後3:00)

◆母 校 TEL 0225-22-9161 ~ 9163
◆令和8年度同窓会総会当番学年
昭和60年卒 新田美穂 清水真理子 阿部佳江
平成12年卒 阿部紀子 鈴木明子 伊藤亜希子

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。
当日、年会費も受け付けております。